



第3号

横手高等学校美入野会会報

美入野

題字・多賀糸顧問

♪真夏の団歌練習♪

さよなら旧校舎おわかれ見学会



☆「さよなら旧校舎おわかれ見学会」当日のライブ動画は
Facebook「横手高等学校美入野会」で配信しています。



美入野会総会開催

令和4年度



令和4年度横手高等学校美入野会総会が9月3日（土）、松與会館を会場に、43期から113期まで67名が参加して開催されました。

今回は64期、74期、84期、94期が当番幹事となり、猿橋薫氏（74期）の司会により進行されました。

議事では鈴木信好氏（64期）が議長を務め、会員の皆様から貴重なご意見をいただきましたながら令和3年度事業報告・収支決算、令和4年度事業計画・収支予算がいずれも可決承認されました。



▲当番幹事引継ぎ



▲司会の猿橋氏



▲鈴木議長

また、会則の一部改正も活発な質疑の末、全会一致で承認されました。

総会終了後に行われた「校友の集い」では、美入野会旗が来年度の当番幹事の65期代表へ引継がれました。

最後に扇田亮氏（93期）、塩田聡氏（88期）、佐藤亮太氏（113期）によるスペシャルジャズコンサートが開催され、大いに盛り上がりました。

また、コロナ禍の影響で飲食を伴う会議が少なくなった昨今ですが、三年ぶりに懇親会も開催され、参加された同窓生の皆さんと久しぶりに親交を深めることができました。

◆令和3年度 収支決算

令和3年8月1日～令和4年7月31日

◎収入の部 (単位: 円)		
科目	本年度予算額	決算額
入会金	1,826,400	1,819,200
繰越金	5,081,789	5,081,789
年会費	2,500,000	3,016,000
寄附金	5,000	0
雑収入	6,811	1,019
合計	9,420,000	9,918,008

◎支出の部 (単位: 円)		
科目	本年度予算額	決算額
事業費	2,900,000	2,530,364
会議費	150,000	146,537
交通費	500,000	381,666
慶弔費	200,000	40,000
広報費	100,000	0
記念品代	500,000	393,523
事務費	900,000	898,979
管理費	300,000	150,348
印刷費	388,000	64,020
通信費	200,000	195,097
積立金	500,000	500,000
予備費	2,782,000	152,933
合計	9,420,000	5,453,467

令和4年7月31日現在
美入野会周年記念事業基金現在高
基金現在高 合計 10,911,440円

令和4年7月31日現在
美入野会周年記念事業積立金現在高
積立現在高 合計 3,790,000円

◆令和4年度 収支予算

令和4年8月1日～令和5年7月31日

◎収入の部 (単位: 円)			
科目	本年度予算額	前年度予算額	
入会金	1,778,400	1,826,400	
繰越金	4,464,541	5,081,789	
年会費	3,000,000	2,500,000	
寄附金	5,000	5,000	
雑収入	2,059	6,811	
合計	9,250,000	9,420,000	

◎支出の部 (単位: 円)			
科目	本年度予算額	前年度予算額	
事業費	3,000,000	2,900,000	
会議費	550,000	538,000	
活動支援金	580,000		
交通費	300,000	500,000	
入会式費	500,000	500,000	
管理費	300,000	300,000	
事務局費	600,000	600,000	
事務費	500,000	600,000	
雑費	150,000	200,000	
積立金	750,000	500,000	
予備費	2,020,000	2,782,000	
合計	9,250,000	9,420,000	

(周年記念事業積立金内訳)

◎美入野会積立金	令和2年度	500,000円
	令和3年度	500,000円
◎PTA積立金	令和元年度	700,000円
	令和2年度	698,000円
	令和3年度	696,000円
	令和4年度	696,000円



▲参加者を魅了したコンサート



▲親睦を深めた懇親会

※会則、令和3年度収支決算、事業報告、令和4年度収支予算、事業計画等の詳細等、総会資料はこちらから▶



新名誉会長就任



佐藤 真之名誉会長
(79期)

令和5年春の異動で横手高校校長に着任され、美入野会名誉会長に就任していただきました。

よろしくお願い致します。

Profile

大仙市生まれ。
大曲小、大曲中、横手高校、秋田大学卒。
高校時代は剣道部に所属、顧問は最上慶治先生。
五十嵐隆文先生の薫陶を受け、教育学部英語科に進学。
大学卒業後、英語の教員となり、県北地区の高校に勤務。
令和2年度に横手高校の副校長、令和3・4年度花輪高校校長、今年度横手高校校長に着任。

会長挨拶



設立70周年に向けて ～少しずつ 一歩ずつ～

美入野会会長 佐藤 良吉 (65期)

美入野会会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。併せて、平素より本会活動に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年の総会において本会の益々の発展・充実と会員相互の連携・交流を図るべく、会則の一部改正を提案し承認をいただきました。

主な改正点は

① 支部の表記を、地域・職域美入野会に改正

* 本部・支部の上下関係ではないことを明確にした。

② 地域・職域美入野会会長会議の定例開催

* 各地域・職域美入野会の連携強化を図るため、情報交換の場を設けることとした。

③ 母校並びに各地域・職域美入野会への活動支援金の交付

* 母校並びに各地域・職域美入野会の活動を支援するため、使途を限定せず定額交付するもの。

④ 本会の設立日を、昭和31年8月25日と明記しました

* 横手高校百年史(平成10年12月発行)に美入野会の設立総会がこの日に開催されたとの記述がある。

以上が主な改正点ですが、設立日を明確にしたことにより、本年9月の総会は68回目となり、2年後には設立70周年を迎えます。

このことから、本会設立70周年を盛大にお祝いすべく、9月以降の新体制で、準備に取り掛かりたいと考えております。多くの会員の皆様の意見・アイデアをお寄せいただければ幸いです。

母校の校舎建築も順調に進んでいるようですし、5年後には創立130周年を迎えます。

会員各位のなお一層のご理解・ご協力を切にお願い申し上げます、挨拶と致します。

今春の進路状況 =119期生大学合格状況=

京大2名・一橋大に3名合格

詳しい進路状況は
こちらから▶



今春卒業した119期生進路状況は、国立大学合格者138名、公立大学34名、私立大学154名でした。入試制度改革が続き、制度の変遷の中で文武両道に精進した、卒業生の進学を祝い今後に期待しています。

◆国公立大の主な合格先

◇小樽商科……………2名	◇群馬……………2名
◇北海道……………1名	◇埼玉……………8名
◇北海道教育……………5名	◇東京学芸……………2名
◇弘前……………12名	◇一橋……………3名
◇岩手……………8名	◇横浜国立……………4名
◇東北……………8名	◇新潟……………16名
◇宮城教育……………8名	◇京都……………2名
◇秋田……………30名	◇奈良女子……………2名
◇山形……………4名	◇国際教養……………2名
◇福島……………3名	◇福島県立医……………2名
◇筑波……………3名	◇高崎経済……………4名
◇宇都宮……………3名	◇東京都立……………2名

◆私立大の主な合格先

◇盛岡……………12名	◇東京経済……………3名
◇東北学院……………18名	◇東京女子……………2名
◇東北医薬……………4名	◇東京理科……………3名
◇日赤秋田看護……………6名	◇東邦……………3名
◇神田外語……………2名	◇東洋……………5名
◇青山学院……………2名	◇日本……………10名
◇北里……………5名	◇法政……………5名
◇慶応……………2名	◇武蔵野……………3名
◇専修……………2名	◇明治……………5名
◇中央……………5名	◇早稲田……………4名
◇津田塾……………1名	◇麻布……………2名
◇東海……………3名	◇立命館……………5名

懐かしき学び舎に 270 名が集う さよなら旧校舎おわかれ見学会を開催



▲職員玄関前で受付



▲雲居の泉で記念撮影



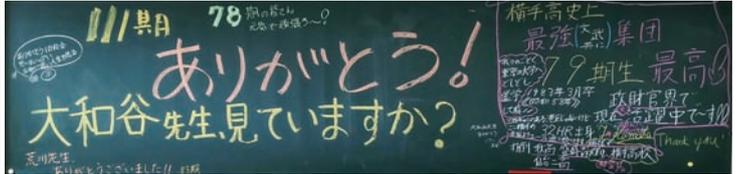
▲部室棟



▲道場



▲完売となった校章入り菓子



▲黒板に記された思い思いのメッセージ

美入野会では、新校舎が完成し旧校舎解体工事が始まる前の8月14日、「さよなら旧校舎、おわかれ見学会」を開催した。当日は、県内外の事前登録した同窓生270名が参加しました。

見学会は、午前と午後の2回に分けて実施し、参加者それぞれが思い出の旧校舎を自由に見学。教室の黒板にメッセージを書いていただくコーナーも設置し、思いがあふれるメッセージが多くみられました。

校内放送では、横手かまくらFMとタイアップし、放送室から様々なゲストを迎え、思い出話やエピソードを語り合っていました。この放送を編集し、後日FM番組でもオンエアし、多くの関係者から反響をいただきました。

さて見学会の最後は、裏山に集合。あの「団歌練習」と「校歌斉唱」を再現。懐かしさを演出するため、吹奏楽OBの生演奏、そして元応援団長の高橋健心さん(116期)が団長を務めて、「声小せえ」「バラバラだ。もう一回!」「きゃね!」など当時さながらの気合いで大いに盛り上げていただきました。

声高らかに団歌と校歌を歌い上げた参加者からは、「卒業して、何年たってもあの裏山での団歌練習は忘れられない」「青春時代がよみがえった」「ありがとう」「楽しかった」「参加してよかった」との感想をいただきました。

開催にあたり、コロナ禍の中校舎見学を受け入れてくださった難波文彦前校長(77期)、佐藤裕子前事務長(77期)、事業委員会の皆様やスタッフの協力に感謝したいと思います。

晴天にも恵まれ、校歌に詠われる「御嶽山」の秀づる勇姿を望むことができました。



旧書庫の蔵書は〳〳の拠点としての学校の記憶

美入野会前名誉会長
(横手高校前校長) 難波文彦(77期)

本校旧図書館の書庫には、明治から大正そして昭和前半にかけての古い書籍が数千冊収蔵されてきました。その状態は劣悪でしたが、新校舎への引越越しにあたり、調査を終えるまでは廃棄せず全て保存することとし、一冊一冊カビや汚れを拭き取る作業をする中で多くの貴重な書籍が見つかり、新たな事実を知ることとなりました。

例えば、「関藤成緒記念図書」や「亡父成緒記念図書」や「藤國助」と押印された書籍が見つかり、本校初代校長の子息が父の死後に書籍を寄贈していたことが分かりました。また、明治32年度から約2年間の学校名「秋田県第三中学校」という蔵書印が押印された書籍が数冊見つかりましたが、これは明治39年の校舎全焼の火災による焼失を免れた貴重なものと言えます。さらに、太平洋戦争後の学校教育における「墨塗り教科書」はよく知られているところですが、「墨塗り百科事典」「墨塗り地図帳」「ページ削除書籍」も存在していた事実がわかりました。貴重な書籍としては、数百冊の和綴じ本のほか、アイヌ語とそれに対応する日本語および英語を併記した「アイヌ語英和辞典」(明治38年刊)や、イギリスで1920年代に刊行された図解百科事典「I SEE ALL」も見つけました。

そのほか、各学問分野の専門書や専門資料も多数収蔵されていましたが、その理由・背景については、ある方から「旧制横手中学校はこの地域における最高の〳〳の拠点として、〳〳を収集する役割も担っており、その教師たちはこの地域において最も高い〳〳を身につけた知識人と認識され、〳〳を教授する存在でもあったのであろう」とご教示いただきました。

以前、タモリがテレビ番組「プラタモリ」の中で、「地名は土地の記憶。だから変えちゃいけない。」と語っていました。古い地名が、その土地の成り立ちやそこで繰り広げられた人々の営みを伝えてるように、本校所蔵の古い書籍は、本校の歴史や歩みを証言する貴重な資料です。連綿と続く本校の歴史や伝統の上に立っている我々には、旧書庫の蔵書から本校の歴史を丹念に読み取り、これまでの歩みを明らかにする責務があります。



▲旧図書館に並べた古書籍



▲墨塗り地図帳

※本稿は、生徒会誌「美入野124」巻頭言、および令和4年度「研修集録」巻頭言(横手高校ホームページに掲載)を抜粋・要約したものです。また、「旧書庫内書籍目録」の作成はほぼ終了しました。

生徒会誌「美入野124」はこちらから



美入野会第 119 期生入会式 ようこそ美入野会へ

令和4年度第119期生の美入野会入会式を、全日制は第2体育館を会場に令和5年3月1日、定時制は青雲館を会場に3月2日に開催しました。今年度は全日制230名、定時制20名(前期1名、後期19名)、合計250名の卒業生を美入野会にお迎えしました。

佐藤会長は挨拶で、本校ゆかりの作家、石坂洋次郎の小説「若い人」から「小さな完成よりも あなたの孕んでいる未完成の方が はるかに



▲全日制代表は
35組 松田康永さん



▲定時制代表は
4年次A組 大江千沙さん

大きなものであることを忘れてはならないと思う」という言葉を贈りました。

また記念品として、校章入りマグボトルとハンカチを贈呈しました。

入会を心から歓迎し、活躍を祈念致します。また今後の当会へのご協力をよろしくお願い致します。



美入野会員の「絆」をピックアップ。地域・職域美入野会や同期会、部活OB会等を開催した場合は、美入野会事務局までお知らせください。HPや会報で紹介していきます。

65 期同期会 同期生の叙勲を祝って

私たち65期は、33歳の厄払いのときから3年ごとに同期会を開いています。当初は盆過ぎの時期に100名を越す参加者でしたが、50歳以降は60名前後が毎回参集しています。

昨年は第14回同期会を開催する年でありましたが、コロナ禍で躊躇しておりましたが、令和4年度「秋の叙勲」で同期生2名が栄えある褒章を受章され、その祝賀会を兼ねて急遽開催することになりました。

令和4年12月4日に松興会館において、県外5名を含む28名が参加し、和やかにお祝いしました。

なお、秋田市内在住65期同期会も年一回ペースで開かれ、10名前後が集まって情報交換をしていると聞いております。(佐藤(重))



地域・職域美入野会

◆東京美入野同窓会

東京美入野同窓会は新型コロナウイルス蔓延の影響で活動自粛を余儀なくされておりましたが、行動規制の緩和や感染状況等に注意しつつ活動を再開しました。

令和4年10月15日は恒例の「いもの子会」を開催し、難波名誉会長が参加しました。

東京美入野同窓会の
詳細はこちらから▶



◆関西美入野会

令和4年10月22日、3年ぶりに秋期定例の「いもの子会」を大阪で開催しました。20代から90代まで計15名の会員、佐藤会長が参加し、関西ではなかなか味わえない故郷の味覚を楽しみながら、懐かしい言葉で語り合いました。

最後はいつものように、石田信義当会会長によるエールと校歌斉唱。680km離れた母校と裏山に想いを馳せながら、健康な再会を誓い合いました。



◆仙台美入野会

令和4年10月29日、ホテル白萩において第48回仙台美入野会定例総会及び懇親会が開催されました。

今回は3年ぶりの開催となり、感染対策を取りながらの総会でした。参加者は26名と少数ではありましたが懇親会では津軽三味線の演奏等アトラクションも催され、アンコール曲の「大いなる秋田」では故郷を思い大いに盛り上がりました。佐藤会長、難波名誉会長が出席しました。



地域・職域美入野会状況

◆六郷美入野会

秋の研修母校訪問…………… 令和4年10月21日

◆県庁美入野会総会開催…………… 令和4年11月21日

◆大曲美入野会総会開催…………… 令和4年11月22日

◆湯沢雄勝美入野会総会開催… 令和5年2月24日

※各地域・職域美入野会の連絡先、活動等については美入野会事務局にお問合わせください。

◆北海道美入野会

令和4年11月5日、3年ぶりに「北海道美入野会」の第29回総会・懇親会(会場:札幌ガーデンパレス)を開催しました。参加者は57期から91期までの10名でした。

「近況報告」「母校の思い出」「今後の展望や希望」など、自由闊達に語り合い、最後は、「校歌」を斉唱。元応援団員であったという会員の音頭により「フレイフレー、よこてー」で盛会裡に会を締めました。



謎の言葉を追って

吉成 祐子 (50期/横手市)

3.11 地変の資料で欲しいものを求めていたら、やっと県立図書館から届いた。それは、変色しかかっていた。寄贈者を見て驚いた。ほぼ六十余年前の職場実習の指導者名であった。私の実習録をめくっての言葉は「あなたは男子校を出ていますね。」このひと言がまた謎となって、時折私を遠い昔に誘う。

確かに“剛健質朴の健児”を育成してきた学び舎に、第1期の女子生として3年を過ごした。今でいうハラスメントも多数、職場でも学部でも女子おことわりも多かった。だから、早々に私の希望先は閉ざされていると予見した。担任は「君が男子だったらねえ」とつぶやかれた。教室の最奥席の級長が「昨日は徹夜」とケロリとしているのを横目に、「この人は闘う相手じゃない」とすぐ認識する。東大に現役入学する人なのだ。「かかりつけ医から青春前期を乗り越えられるか危惧された子は、1期生の重責に耐えられず自爆するかも」と心配して送り出した父の気懸かりがよく判るのだ。

だが、めまぐるしく変わる指導要領や大きな学制改革、思想闘争の余波もくぐりぬけてきた教師や、

旧制中学から6年在籍した上級生も皆、大人としての寛容な目配りで私達の歩みを応援してくれたのだ。それぞれが独特の臭いとなって、ずっと私にもまとわりついているのだろうか。

今は三分の二となった1期生の中で、得意なスキー滑走の如くいち早く逝きしKさんが、謎を聡明に解いてくれる日も近いだろうと思う美入野女子第1期生のつぶやきである。

注(女子一期生のあれこれについて興味のある方は「あをくも第172号」、その他の記念誌に詳しいので、それちらをご覧くださいませ)



▲裏山にて女子1期生19名



親子三代のご恩

山田 清繁 (55期/美郷町)

私の横手高等学校での思い出として真っ先に思い浮かぶことは、入学早々裏山に集められ、校歌と団歌の練習を強制的にさせられたときのことです。態度が悪いと注意され、剣道の竹刀でバシッバシッと二発くらい叩かれ、「いてえ」と思ったことが、今でも印象に残っています。

クラブ活動はバレエ部に所属しました。2年生のときにやっとレギュラーの選手となり試合に出たのですが、一回も試合に勝てず、全戦全敗で終わったことが思い出であります。試合に負けた懲罰でグラウンドをうさぎ跳びで一周させられたときは、涙でぼろぼろでした。

さてこの度、秋田県立横手高等学校新校舎落成竣工記念として、青雲の校章を付けた演台一式を贈らせて戴くことになりました。

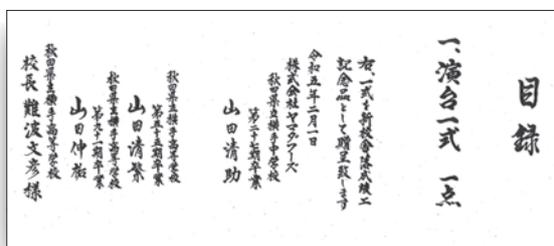
弊社株式会社ヤマダフーズは、初代山田清助が横手中学校第27期卒業をして、二代目山田清繁は横手高等学校第55期卒業、現社長は横手高等学校第91期卒業と、親子三代に亘り同校を卒業させて戴きました。その名誉を

感じ、特注演台一式と花台二台を記念として作成、贈呈させて戴きました。

演台と花台は令和4年度の卒業式で早速ご使用戴いたと伺っております。演台一式を、末長くお使い戴ければ幸いです。



▲贈呈した演台一式と花台二台



▲校長室にて贈呈式



団歌練習と甲子園と

高橋 勲 (68期 / 埼玉県久喜市)

横手高校の卒業生なら誰しも、裏山での団歌練習が思い出にあると思います。

昨年の夏前に「旧校舎のお別れ見学会」というイベント情報をSNSで偶然に見かけた。

校舎の新築工事が行われている事は知っていたが、半世紀前に自分が入学した時も同様に旧校舎(木造)と新校舎(今回解体)があり、いかにも伝統の匂いがする木造校舎の教室で吹奏楽部のパート(クラリネット)練習をした事を今でも覚えている。

その後、吹奏楽部の後輩である扇田君(93期)から「お盆の時に楽器を持って集まれる方は協力願います」と発信があり、安易に参加の意思表示をした。

私自身は母校の敷地も裏山も卒業以来の52年振り午後部の部に参加し、自分の子供や孫ぐらいの年代の後輩達や、偶然にも顧問の先生と話したり、部活の絆が年代ギャップを感じさせない、とても優しい雰囲気の中で徐々に美入野サウンドの演奏ができ、何とも幸せな気分浸れた。

高校時代の大きな思い出に「夏の甲子園大会出場」もある。

自分は応援メンバーに入れたが吹奏楽部バス1台

の定員に入れなかった1年生も居た。

羽後交通のバスが当時全線未開通の東北道を通り、甲子園まで約30時間を要し西宮に降りた時のムツとした空気と連日の食事がカレーだった事を今だに忘れられない。

肝心の試合は京都代表の平安高校と2時間の熱闘の末、初戦敗退で空しく帰路について、疲労困ぱいの帰りの乗車時間は忘れた。

創立70年で最初の甲子園出場、地元も学校もOBも大盛り上がりだったが「今後もあれば楽器を持って応援に行きたい」とバンドのOBメンバーでは話している。

70歳を迎える現在もオヤジバンドを趣味でやっているが美入野人脈から派生して多くの人と知り合い、その輪が今だに広がっている事も含め、母校には感謝である。



▲横手ヒーローズ



私の原風景

東海林 健 (90期 / 新潟市)

1994年に横手を出て、気がついたら30年が経過しようとしています。第90期生の東海林健と申します。

横手高校を卒業後、新潟大学、オランダの大学院を経て、現在は新潟県新潟市内にて建築設計事務所を主宰し、小さな家具から、住宅、店舗、こども園、福祉施設や商業施設まで、幅広く建築空間の設計をしています。更には建築設計を超えて、ビジネスブランディングやまちづくり、最近ではメタバースを活用したデザインワークにも注力しています。

そんな活動の中、40歳を過ぎた頃からでしょうか、設計をする上で横手の風景やそこで得た固有の経験を強く想うようになりました。

雄物川町から自転車やバスで1時間かけて通った自然豊かな通学路、学校の廊下から橋で繋がる裏山での青春、部室での友との語り、ガラス張りの図書館に落ちる木洩れ日、冬囲いが一枚一枚外れるごとに暗がりからうらうらと侵食する春の光、雪原に思い思いに作ったくねくね道……際限なく思い



▲高校時代の筆者



▲hara house / 中之島の家
設計: 東海林健建築設計事務所



▲越後薬草蒸留所
設計: 東海林健建築設計事務所

出す全てが私の原風景であり、設計の種となっています。

高校の同級生がオーナーシェフを務めるRistrante Giuemeに始まり、数年前より秋田県での仕事をする機会も増えました。現在は高校の先輩が経営する歯科医院の設計を盛岡市にて進めています。

ここで芽吹いた感性、30年をかけて少しは磨かれたと思います。それと、ここから育まれた豊かな縁を、そろそろ故郷横手に活用し、これからの横手の子供たちにとっての原風景作りに参画していければと考えています。

MIIRINO Information

◇会費納入状況について

年度別	過年度会費	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	寄附金	合計
	¥144,000	¥1,520,000	¥148,000	¥60,000	¥0	¥1,100,000	¥44,000	¥3,016,000
金額別	¥2,000	¥4,000	¥6,000	¥8,000	¥10,000	合計	昨年度合計	¥4,570,400
	799人	37人	10人	0人	110人	956人	令和2年度よりの繰越金	¥5,081,789

合計納入会員数と納入金額、多年度納入者が大幅に減少しています。望ましいのは単年度納入者の大幅増です。

◇令和4年度 年会費納入のお願い (会計年度：令和4年8月～令和5年7月)

会員の皆様には日頃から美入野会活動に深いご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。
さて、美入野会の運営は、その財政基盤のほとんどを会員の皆さまの年会費に依存しております。円滑な活動を推進するため、令和4年度の年会費納入にご協力賜りますようお願い申し上げます。

- 年会費納額
2,000円(多年度分納入可、5か年度分までとします)
- 納入期日
令和5年6月30日(金)まで
- 振込先
◎北都銀行 横手支店
店番号 061 □座番号(普通)8142554
秋田県立横手高等学校美入野会
◎ゆうちょ銀行(名称を簡潔にしました)
□座記号番号 00100-3-674288
□座名称(漢字)美入野会 (カナ)ミイリノカイ
(尚、振込手数料はご負担下さいますようお願い致します)
※ご氏名の前にご自身の卒業期を記入して下さい
(例) 100キ ミイリノタロウ

- 事業内容
 - ①母校の振興発展に寄与するための事業
 - ②会員相互の連携と親睦を図るための事業
 - ③その他、地域社会貢献等、必要と認められた事業
 詳細は、ホームページをご覧ください。
- ※尚、年会費納入状況を見て、収支予算化し、実行して参ります。また、多年度納入の会員の皆様にも振込用紙が同封されておりますが、作業が複雑になりますのでご了承をお願い致します。
- ※会則の通り、卒業後4年以内・満80才以上の会員からは年会費をいただきませんので、会費納入は必要ありません。お間違のないよう宜しくお願いいたします。

この会報は皆様の会費で製作発送を行っております。

令和5年度 第68回美入野会総会のご案内

今年度の幹事は下1ヶタ5のつく卒業期の方です

とき 2023年9月2日(土) 15:00～

ところ 松 興 会 館 横手市平和町4-2

※尚、変更がある場合はホームページ等でお知らせいたします。※出欠の予約はホームページからも可能です。

ありがとうございました

=50期同期会から寄付=

50期同期会より、今後の同期会の運営・活動の継続が高齢のため困難となり、これまでの残金(97,432円)を美入野会に寄付したいとの申し出がありました。

有難くお受けし会長よりお礼状を発送しました。心より御礼を申し上げます。

会員名簿データの変更は HP から

氏名、住所等の変更があった場合は、美入野会 HP 「名簿変更届け」フォームから入力ください。
また事務局への電話、FAX、メールでも受け付けます。



新任の事務局長が就任しました



事務局長
長谷山 達夫
(72期)

令和4年7月事務局長に就任致しました。
よろしくお願いいたします。

Profile

大森町外二ヶ町村山林管理組合を経て大森町役場入庁、市町村合併により横手市職員となり市民税課長、大森地域局長等を歴任。平成30年3月に定年退職。
その後、(財)山下太郎顕彰育英会(平成30年6月～令和3年11月)に勤務し、現在同財団監事。

編集後記

今年は少し早い春の訪れとともに、コロナウイルス感染症による停滞した経済から徐々に回復しつつあります。しかし、コロナ前の7割経済と言われているように、完全に回復は難しいのですが、その代わり新しい動きがどんどん盛んになってきました。

最近ではChatGPTの話題を多く見聞きします。人は新しいものやテクノロジーに壁を作ってしまう傾向がありますが、それに頼るのではなく、それをうまく活用することができれば……古いものを切り捨てるのではなく、新しいものと融合させることで次のステージが開かれるのではないのでしょうか。今回も発行にあたりご協力いただいた会員の皆様、関係各所の皆様に感謝を申し上げます。そして、今後も美入野会の運営にご協力いただきたくをお願いいたします。編集後記とさせていただきます。

広報委員会
五十嵐友和(90期)

